

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 …………… 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 340番
- *交読文 …………… 40番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 107番
- 礼拝のための祈り ……… 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 …………… 344番
- メッセージ …………… 信じる者には何でもできる(マルコ 9:14-29)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 389番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 …………… 次週よりアドベントが始まります。主の降誕を備えましょう。
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

よくよく_____に言うておく。わたしを信じる_____は、わたしのしているわざをするであろう。そればかりか、もっと大きいわざをするであろう。… わたしの名によって願うことは、なんでもかなえてあげよう。父が子によって栄光をお受けになるためである。何事でもわたしの名によって願うならば、わたしはそれをかなえてあげよう。もし_____がわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである。わたしは父にお願いしよう。そうすれば、父は別に助け主を送って、いつまでも_____と共におらせて下さるであろう。それは真理の御霊である。… _____はそれを知っている。なぜなら、それは_____と共におり、また_____のうちにいるからである。わたしは_____を捨てて孤児とはしない。_____のところへ帰って来る。(ヨハネ14:12-18)

『一同がほかの弟子たちのところに来てみると、彼らは大勢の群衆に取り囲まれて、律法学者たちと議論していた。』(マルコ 9:14) 弟子達は、ある父親から子を救って欲しいと、お願いされていた。その子は幼い時から、言うことも聞くこともさせない霊(マタイ 17:15: てんかん)につかれ、何度も火の中や水の中に投げ込まれて来た。しかし、弟子達はその霊を追い出す事ができず、その子は放って置かれたまま、律法学者たちは弟子達に議論を仕掛け、それを大勢の群衆が囲んで見ている有様だった。主は怒られた。「ああ！」「信仰無き世代！」「私はいつまであなた達と一緒にいられるだろう？」「いつまであなた達に我慢しなくてはならないだろう？」「その子を私の所に連れて来なさい」と。主は怒る。弟子達の信仰の無さを。悪霊を追い出せない事をエサとし、癒すべき子をよそに議論する事を。悪霊の目的は、人々を真理から背けさせ、物事を混乱させ、人々を互いに主義主張させ、いのちから遠ざける事である。この時まさに、悪霊は高らかに笑っているような状況だったであろう。

主は「いつまであなた達と一緒にいられるだろう」と言われたが、主はやがて天に昇られ、弟子達と面と向かってアドバイス出来なくなった。しかし弟子達は「使徒」となり、大胆に主の働きを為すようになった。今や私達は、先生と生徒のように、耳で主から具体的なアドバイスを聞いたり出来ないが、主はいつでもどこでも共におられ、信じる者の信仰を通して働かれ、聖霊によって助けて下さる。**主は、我慢しておられる。**私達キリスト者が、見える所によらず、信仰によって実体ある働きを為すまで。私達はいつまでも、目で見れる「先生」に頼る事から、脱皮しなくてはならない。弟子たちがやがて使徒となったように、私達も**信仰によって一人立ちして、主から遣わされた「使節」として働くなくてはならない。**「使徒(apostoros)」とは「職権を委ねられ遣わされた者」という意味であり、「全権大使」「遠征隊」の意味もある。主は私達に職権を委ね、主に代行し使節として働く事を望んでおられる。(2 コリント 5:20)

『**霊はたびたび、この子を火の中、水の中に投げ入れて、殺そうとしました。しかしできますれば、わたしどもをあわれんでお助けください。**』(マルコ 9:22) 子がいつも尋常でない言動をして、手を付けられない事が長続きすると、人は癒されるのは無理と思う。しかも主にさえ「できるものなら」と言ってしまふ。皆さんは主に言っていないか？「**できるものなら**」と。それはイエス様が最も嫌う、「**不信仰告白**」である。主は言われる。**信じる者には、何でも出来る**、と。皆さんも信仰告白すべきである。**イエス様にあつて、わたしは、何でもできる！**と。(ヨハネ 14:12) 『イエスは群衆が駆け寄って来るのをごらんになって、けがれた霊をしかつて言われた、「**言うことも聞くこともさせない霊よ、わたしがおまえに命じる。この子から出て行け。二度と、はいつて来るな。**』(マルコ 9:25) 私達が使節として権限委託された権威の大元は、この、頑なにもの言わせない霊も、頑なに聞かせない霊も、震え上がって従わざるをえない、全能の父なる神の右に座し、全てを裁かれる主、イエス様である。

「このたぐいは、**祈と断食**とによらなければ、追い出すことはできない」(マタイ 17:21) 親や子、親しい友人などが病的状況に陥って長い時、それが悪霊によるのか、単に病によるのかといった追求は、無用である。大事なものは、「**このたぐいは、追い出し可能**という事だ。それも、**祈りと断食によって**。皆さんは、親しくしている子や友人、親類が癒されるために、**断食、すなわち、自分の好むあれこれを止めて主の御前に出、本気になって祈った事があるだろうか？**断食とは、単に「食べない」事ではなく、今までして平気でしていた悪を止め、人を身勝手に支配して来たそのなわめをほどき、しいたげられた人達を自由の身とする事。**人の後ろ指をさす事を止め、つまらないおしゃべりを口から除き、困っている兄弟姉妹や、肉親の世話を誠実にする事である。**(イザヤ 58 章) そうするなら、あなたの光は闇の中に輝き出で、あなたを包む闇は、真昼のようになる。主は常に導き、焼けつく地で渴きをいやし、骨に力を与え、潤された園、水の涸れない泉となり、人から「城壁の破れを直す者」と呼ばれるようになる。(同 10-12 節) 癒すべき子を放って置いたまま神学議論に明け暮れ、大勢の群衆が見ていた有様は「断食」とは正反対の有様である。主に喜ばれる断食をし、愛する人の為に本気で祈って取り戻す皆さんでありますように！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

日曜礼拝

1部礼拝(韓国語中国語通訳有) 10:30
 食事/フェローシップ 12:00～
 2部礼拝 14:00
 聖書の学び会(箴言) 15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
 火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
 火・木 夜の祈祷会 21:00～

水曜集会

1部 13:00～
 2部 19:30～

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
 6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
 JR・関内駅より徒歩10分
 京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
 伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
 1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で

聖書メッセージをメールで
 毎日携帯にお届けします。
 左記コードを読み込み、
 空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター：林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト